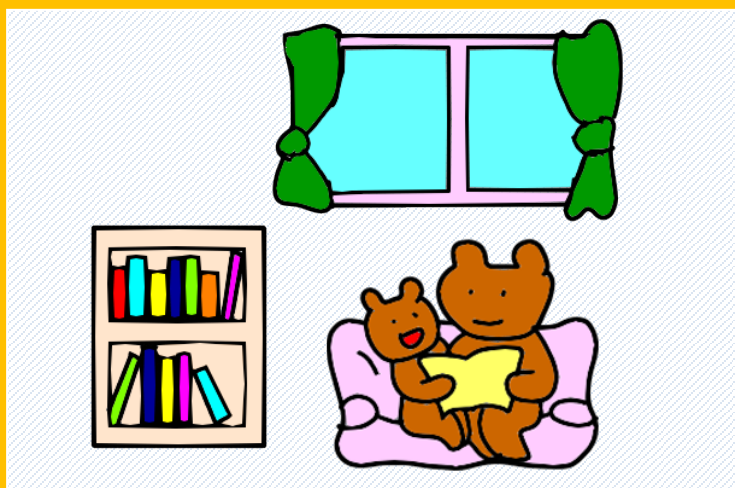


おうちでいっしょに 楽しむ絵本

3歳からのブックリスト



横浜市立図書館

読み聞かせ Q & A

子どもは、絵本の読み聞かせが大好きです。なぜなら、大好きな大人といっしょに、楽しいことや知らないことがいっぱい詰まっている世界を味わうことができるからです。

読み聞かせは、親子のコミュニケーションの時間です。子どもに質問をしたり、感想を求めたりせず、子どもといっしょに絵本をまるごと楽しみましょう。

Q

本を読む時は、どんな姿勢がよいのでしょうか



A

いつでも、どこでも楽しめるのが、本のよいところ。子どもを膝の上ののせてあげても、隣に寄り添っても、子どもがリラックスして聞けるのであれば、どんな姿勢でも構いません。



Q

読み聞かせをしても、聞いてくれません



A

読み聞かせをしても、おとなしく聞いてくれないことがあります。でも、大丈夫。聞いていないように見えても、子どもは本を楽しんでいます。あまり気にせず、読み聞かせを続けてみてください。

ただし、子どもがほかのことに気をとられているようであれば、読み聞かせは次の機会にした方がよいでしょう。

Q

いつも決まった本しか読みたがりません



A

子どもは好きな本をくり返し読んでもらいたがります。子どもは本の中の変わらない世界に安心してしますので、「もういい」と言うまでは、読み聞かせを続けてあげてください。

Q 本を読んでいると次々ページをめくってしまいます



A 本を読んでいる途中でも、次々ページをめくってしまったり、本をパタンとどじってしまったりすることがあります。それでも心配することはありません。少しずつ読み聞かせに慣れていけば、本をじっくりと楽しめるようになります。

あまり聞いていないようでしたら、子どもにおはなしが難しすぎるのかもしれませんが。途中でやめて、ほかの本を読みましょう。

Q 何歳まで本を読んであげればよいのでしょうか



A 本の読み聞かせは、子どもが文字を読む訓練ではありません。たとえ文字が読めるようになったとしても、文章を読んで内容を理解できるようになるまでには、時間がかかります。子どもが「自分で読む」というまでは、絵本や物語を読んで聞かせてあげてください。



Q どんな本から読み聞かせを始めたらいいのでしょうか

A まずは、このリストにある本から、子どもといっしょに楽しんでください。

また、図書館では、いろいろな絵本の読み聞かせをする、おはなし会を行っています。子どもたちが、知らない本に出会うきっかけになるかもしれません。ぜひご参加ください。

図書館には、「児童書研究コーナー」もあり、読み聞かせに参考になる本もあります。図書館の窓口でもご相談ください。

読み聞かせについてもっと知りたいときは・・・

☞ 『ぼくの絵本わたしの絵本 0歳から6歳までの絵本ガイド』

石川道子・平田美恵子・湯沢朱実／編著 プランニング遊

→年齢別に本を紹介しています。子どもがどのように本を楽しむのかわかります。

☞ 『絵本はともだち』 中村砥子／著 福音館書店

→保育園で絵本の読み聞かせをしてきた著者による実例集。ブック・リスト付き。

☞ 『子どもの育ちを支える絵本』 協明子／編著 岩波書店

→なぜ子どもに絵本を読むのか、またどのように読むのかが書かれています。

ほかにもいろいろあります。くわしくは図書館でおたずねください。

3～4歳



3～4歳の子どもは、好奇心が旺盛。見るもの、聞くものが新鮮で、何でも試してみたくなる頃です。ごっこ遊びが好きになる

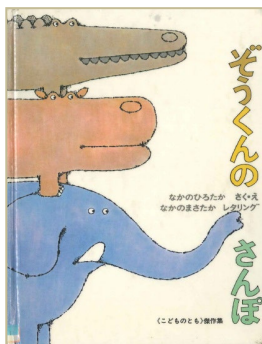
この時期は、主人公になりきって絵本をまるごと楽しめます。ストーリー運びが簡単で、結末が安心できる絵本を読みましょう。

ちびすけどっこい

シリーズ

こばやしえみこ／案 ましませつこ／絵
こぐま社

「ちびすけどっこい はだかでこい ふんどしかついで はだかでこい」。わらべうたのリズミカルな言葉を、子どもとスキンシップをとりながら楽しみましょう。



ぞうくんのさんぽ

シリーズ

なかのひろたか／さく・え なかのまさたか／レタリング
福音館書店

さんぽにでかけたぞうくんは、おともだちのかばくんや わにくんたちを どんどんせなかにのせていきます。ぞうくんは とてもちからもち。ところが、ぞうくんは、あまりのおもさに たえられず…。

ねずみのいえさがし

シリーズ

ヘレン・ピアス／さく まつおかきょうこ／やく
童話屋

ねずみが いえをさがしています。うえきばちは、さむすぎるし、ストーブのまえではあつすぎます。ぴったりの いえは見つかるかな？ 写真を使った絵本です。



だいくとおにろく

松居直／再話 赤羽末吉／画
福音館書店

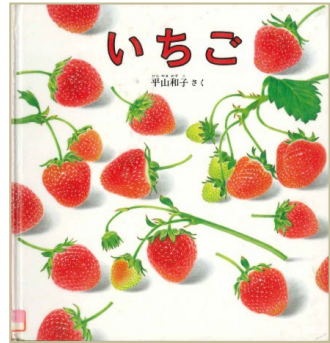
「おまえの目玉よこしたら、おれが おまえに
かわって、その橋かけてやってもええぞ。」と
おにに言われた だいく。目玉を取られないた
めに、だいくは、おにの名前を当てなければ
なりません。



いちご

平山和子／さく 福音館書店

「あたたかくなったよ。いちごはまだ？」
寒い冬をこえて、いちごが少しずつ育って
いく様子が、色鮮やかに描かれています。
おいしそうないちごの絵に、思わず手をの
ばしたくなります。



てぶくろ

エウゲーニー・M. ラチョフ／え うちだりさこ／やく
福音館書店

おじいさんがおとしていった てぶくろ。くいし
んぼねずみに ぴよんぴよんがえる、はやあしう
さぎなど、たくさんの動物が「いれて」とやって
きます。てぶくろは、いまにも はちきれそう。
ウクライナの民話です。



ティッチ

シリーズ

パット・ハッチンス／著 石井桃子／訳
福音館書店

三人きょうだいのすえっ子のティッチが、
もっているものは 小さいものばかり。で
も、そんなティッチがうえた小さいたねは、
ぐんぐん育って きょうだいのだれよりも
大きくなりました。



おやすみなさいおつきさま

マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく
クレメント・ハード／え せたていじ／やく 評論社

こうさがぱっちりと目をあけたまま、ベッドに入っています。へやの中のもの、一つ一つにおやすみなさいとよびかけていくうちに、いつのまにかねむりにつきました。おやすみの前にどうぞ。



はらぺこあおむし

エリック・カール／さく もりひさし／訳
偕成社

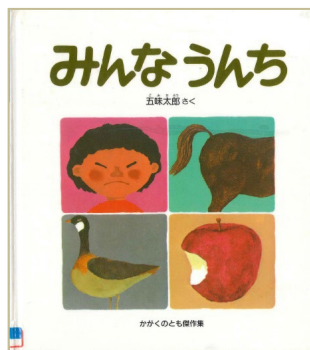
うまれたばかりのあおむしは、おなかがぺっこぺこ。あおむしがたべたのは、りんごに なしに、すももに いちご、ほかにもたくさん！ 穴が開いているしかけも、子どもに人気です。



みんなうんち

五味太郎／さく 福音館書店

おおきいぞうは おおきいうんち。ちいさいねずみは ちいさいうんち。とまって うんち。あるきながら うんち。いろんな どうぶつ いろんな うんち。みんな うんちをするんだね。



わたしのワンピース

ししまきかやこ／え・ぶん こぐま社

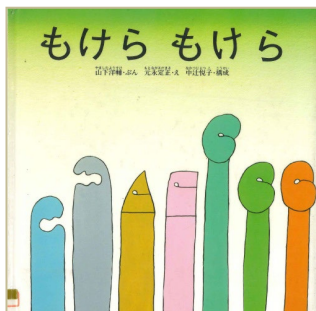
空からおちてきた まっしろな きれで、ワンピースをつくりました。ララン ロロンにあうかしら？ ふしぎなワンピースは 花もようや水玉もようと 次々にもようが変わっていきます。

せきたんやのくまさん

シリーズ

フィービとセルビ・ウォージントン／さく・え
いしいももこ／やく 福音館書店

せきたんやのくまさんは、にばしやにのつて、せきたんをはいたつします。どかん！ どかん！ と せきたんをおいて、「200 円いただきます。」といいました。はたらきもののくまさんの一日です。



もけらもけら

山下洋輔／ぶん 元永定正／え
福音館書店

とってもへんてこな絵と、「もけら もけら ぱたら ぺたら ぴた」といった独特なリズムのある言葉が、不思議によく合っています。気楽に言葉の響きを楽しんでください。

もりのなか

シリーズ

マリー・ホール・エッツ／ぶん・え まさきりこ／やく
福音館書店

ぼくは、かみのぼうしをかぶり、あたらしいらっぱをもって、さんぽにでかけました。すると、もりのなかのどうぶつたちが、ぼくのさんぽについてきました。モノクロの静かな絵本です。



三びきのやぎのがらがらどん

マーシャ・ブラウン／え せたていじ／やく
福音館書店

むかし、あるところに 三びきのやぎがいました。なまえはどれも、がらがらどん といいました。「お前を食べてやる」という、おそろしいトロルを前に、やぎたちはどう切り抜けるのでしょうか。

4～5歳



4～5歳の子どもは、社会生活や友達関係が築かれ、生活範囲からちょっと離れたことにでも、興味関心が広がります。また、自分の好みがはっきりして、好きな絵本を楽しむようになります。お気に入りの絵本が見つかったら、くり返し読みましょう。ちょっと長めの絵本も楽しめるようになります。

どろんこハリー

シリーズ

ジーン・ジオン／ぶん マーガレット・ブロイ・グレアム／え
渡辺茂男／訳 福音館書店

くろいぶちのある しろい犬のハリーは、おふろがだいきらい。そんなハリーが、どろんこになり、しろいぶちのある くろい犬になりました。かぞくはだれもハリーだとは きづきません。さあ、たいへん。



11ぴきのねこふくろのなか

シリーズ

馬場のぼる／著 こぐま社

11ぴきのねこは、えんそくにでかけました。道のたてふだの「してはいけないこと」をしていき、「ふくろにはいるな」とかいてある おおきなふくろにも入りました。するとふくろの口がとじられて…。大人気シリーズの1冊。

くいしんぼうのはなこさん

石井桃子／文 中谷千代子／絵
福音館書店

うしのはなこは、わがままほうだいで なんでもひとりじめ。ある日、おもと かぼちゃをたべて、はなこのからだは、ふうせんのようにふくれあがります。ユーモラスな結末に、思わず笑顔がこぼれます。





いたずらこねこ

バーナディン・クック／ぶん レミイ・シャーリップ／え
まさきりこ／やく 福音館書店

はじめてかめをみた こねこ。まえあしで、
かめのあたまを ポンとたたくと、くびが
きえました。もういちどたたくと、足が き
えてなくなりました。こねこは びっくりぎ
ょうてん。

いっすんぼうし

いしいもこ／ぶん あきのふく／え
福音館書店

てのゆびほど ちいさい いっすんぼうし。
「わたしは みやこにのぼって、ひとはたら
き してこようと おもいます。」 おわんを
かさにし、はしをつえにし、はりをかたな
にして、でかけていきました。



おかあさんだいすき

マージョリー・フラック／文・絵 光吉夏弥／訳・編
岩波書店

きょうは、ダニーのおかあさんの たんじょ
う日です。ダニーは、おかあさんに あげる
ものを みつけにでかけました。さて、ダニ
ーの おくりものとは？ ダニーのまっすぐ
で優しい気持ちが伝わってきます。

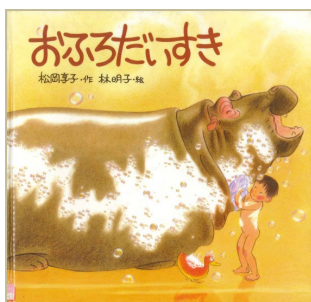
キャベツくん

シリーズ

長新太／文・絵 文研出版

おなかをすかしたブタヤマさんが、キャベ
ツくんをつかまえました。キャベツくんが
「ぼくをたべるとキャベツになるよ」とい
いました。「ブキャ！」とブタヤマさんは、
びっくりしてしまいます。2人のナンセン
スなやりとりを楽しんでください。





おふろだいすき

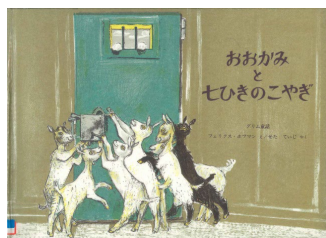
松岡享子／作 林明子／絵
福音館書店

まこちゃんは、いつも あひるのプッカをつれて おふろにはいります。ある日、おふろのそこから、おおきなかめが ざあーっとういてきました。そして、ペンギンやオットセイまであらわれて…。

おおかみと七ひきのこやぎ

フェリクス・ホフマン／え グリム／原作
せたていじ／やく 福音館書店

おかあさんやぎのるすに、おおかみが こやぎたちを食べようとやってきます。ハラハラしながら聞いていた子どもも、最後にはほっと胸をなでおろします。グリムの昔話です。



しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺茂男／さく 山本忠敬／え
福音館書店

じぶたは ちびっこしょうぼうしゃです。はたらきものですが、なかなかしゅつどうさせてもらえません。そんなあるとき、山かじがおきました。いよいよ じぶたのでばんです。

すてきな三にんぐみ

トミー＝アンゲラー／さく いまえよしとも／やく
偕成社

くろマントに、くろいぼうしの三にんぐみ。それはそれは、こわーいどろぼうです。うばった たからは、さあどうする？ 三にんぐみが考えた宝の使い道には、だれもが納得です。





ぼく、だんごむし

得田之久／ぶん たかはしきよし／え
福音館書店

だんごむしは何をたべるの？ くるっと丸まるのはなぜ？ 身近な生き物のだんごむしの生態が、小さな子どもに分かりやすく書かれています。物語が苦手な子どもにもおすすめです。

からすのパンやさん

加古里子／絵・文
偕成社

からすのパンやさんは、赤ちゃんが生まれて、おおいそがし。おきやくさんがすっかりへってしまいました。そこで、みんなでかんがえて、すてきなパンをつくります。いちごパンにきつねパン、テレビパンに はぶらしパン!?

シリーズ



こすずめのぼうけん

ルース・エインワース／作 石井桃子／訳
堀内誠一／画 福音館書店

はじめてそらをとんだ こすずめは、とおくまできて はねが いたくなくなっていました。どこかでやすもうと、いろいろなとりの巣をたずねますが、どのとりも巣に入れてくれません。

ラチとらいおん

マレーク・ベロニカ／ぶん・え とくながやすもと／やく
福音館書店

ラチは、よわむしな男の子。ある日らいおんがあらわれて、ラチをつよくしてやるということです。さっそく、ラチの修行が始まりました。まずは「いち にっ さん！」ふたりで体操です。



5～6歳



5～6歳になると、自分一人でできることが増え、自立心が芽生えてきます。創作絵本や昔話だけではなく、知的好奇心を満たす科学絵本や、言葉遊びの絵本など、さまざまなタイプの絵本を楽しめるようになります。また、絵本だけではなく、物語も読んで聞かせてあげましょう。

かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック／著 神宮輝夫／訳
富山房

おかあさんにしかられ、しんしつに入れられたマックス。すると、へやに木がはえ出し、ふねがあらわれた。1年と1日こうかいすると、たどりついたのは、かいじゅうたちのいるところ。



かにむかし

木下順二／文 清水崑／絵 岩波書店

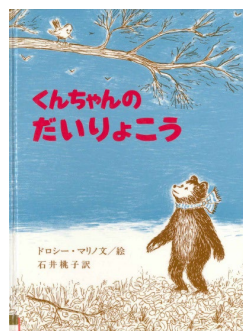
かにの こどもたちが、おやがにの あだうちにおかいます。ぱんぱんぐりに はちや、うしのふん、ぼうに 石うすが なかまになって、がしゃがしゃと 歩いていきました。さるかに合戦で知られる日本の昔話です。

くんちゃんのだいいりょう

ドロシー・マリノ／文・絵 石井桃子／訳
岩波書店

そろそろふゆごもりのきせつ。子ぐまのくんちゃんは、鳥といっしょにみなみのくにへ行こうとします。わすれものを取りになんどもどるくんちゃんを、おかあさんぐまとおとうさんぐまは、優しく見守ります。

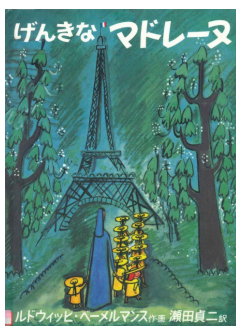
シリーズ



ちいさいうち

バージニア・リー・バートン／文・絵
石井桃子／訳 岩波書店

静かな田舎にある小さいうち。時が経ち、周りの景色は少しずつ変わり、やがてビルに囲われましたが、おうちは変わらずそこに建っています。出版から 50 年以上経っても愛され続けているロングセラー絵本。



げんきなマドレーヌ

シリーズ

ルドウィッヒ・ベームエルマンス／作・画
瀬田貞二／訳 福音館書店

パリの ふるい やしきに、12 人の女の子がくらしています。いちばん おちびさんのマドレーヌは、こわいものなし。そんなマドレーヌが、しゅじゅつをすることになりました。

はなのあなのはなし

やぎゅうげんいちろう／さく 福音館書店

ぼくたちは、はなのあなから いきをする。はなのあながつまると、においがわからなくなる。はなのあなの役目やしくみを、ユーモアたっぷりに説明しています。はなのあなを しっかりとふくらまして 読んでください。



ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ／さく・え おのでらゆりこ／やく
福音館書店

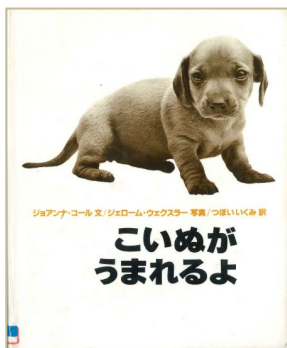
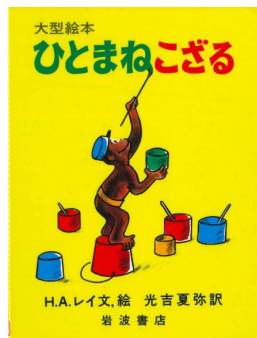
ペレは、こひつじをもっていました。こひつじの毛をかりとり、おばあちゃんに、すいてもらうかわりに、くさとりをしました。つぎは、もうひとりの おばあちゃんのおてつだい。だんだん服が仕上がっていきます。

ひとまねこざる

シリーズ

H. A. レイ／文・絵 光吉夏弥／訳
岩波書店

こざるのジョージは、しりたがりや。じぶんをつれてきた きいろいぼうしのおじさんをさがしに、どうぶつえんのかぎをぬすんで まちにでます。いたずらジョージは、子どもそのもの。シリーズのほかの本も一緒にどうぞ。



こいぬがうまれるよ

ジョアンナ・コール／文 ジェローム・ウェクスラー

写真 つばいいくみ／訳 福音館書店
「おとなりの いぬに あかちゃんが うまれるの。いっぴき わたしが もらうんだ！ ああ、まちきれない！」 こいぬが生まれ、一人立ちするまでの様子を、女の子の目を通して描いた写真絵本です。

わにがわになる

多田ヒロシ／著 こぐま社

「いるかは いるかい」「ねこが ねころぶ」など、楽しい文章とユーモラスな絵がぴったり合った絵本です。子どもと一緒に、ことばとリズムを楽しみましょう。



まほうのコップ

藤田千枝／原案 川島敏生／写真
長谷川摂子／文 福音館書店

たねもしかけもありません。ただのコップに ただのみず。でも、コップのうしろに、いちごやフォークをおくと、どうなるでしょう？ 読んだ後は、おうちのテーブルで、まほうをお試ください。

あおい目のこねこ

ものがたり

エゴン・マチーセン／さく・え せたていじ／やく
福音館書店

あおい目の元気なこねこが ありました。あるとき、ねずみのくにを見つけに 出かけました。なにしろ、ねずみのくにを見つけたら、もうおなかをすかすことが、ありませんもの。



どろんここぶた

ものがたり

アーノルド・ローベル／作 岸田衿子／訳
文化出版局

ある日、おひやくしょうのおばさんが、ぶたごやを おおそうじ しました。どろんこがだいすきな こぶたは、ぴかぴかにされて、おこりました。うちをにげ出した こぶたの冒険が始まります。

みどりいろのたね

ものがたり

たかどのほうこ／作 太田大八／絵
福音館書店

まあちゃんは、たねと いっしょに メロンあじのあめを はたけにまきました。すると、土の中で、たねたちとあめが けんかを 始めます。たねは きちんとそだつでしょうか？



けんた・うさぎ

ものがたり

中川李枝子／さく 山脇百合子／え
のら書店

けんた・うさぎは、げんきな男の子。お父さんのまねをしたり、言ってることと あべこべのことをしたりと、ゆかいな毎日をすごします。子どもの日常を描いた物語です。

子どものみんな😊図書館にきてね

子ども向けイベント

図書館では、わらべうたや絵本のよみかせなどのイベントを行っています。

ぜひ遊びに来てください。

詳しいイベント案内は、図書館ホームページへ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/lib-event/>



利用案内



0歳の赤ちゃんから、図書館カードが作れます。

1枚のカードで10冊まで、2週間(14開館日)本を借りることができます。

詳しい利用案内は、図書館ホームページへ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/guide/>

開館時間

火～金曜日…9:30～19:00

※中央図書館・山内図書館は20:30まで

土・日・月・祝日…9:30～17:00

※年末年始は開館時間が変わります。

その他の休館日など、詳しくは図書館ホームページへ

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/library_calendar.html



のげやま子ども図書館おやこフロア

「絵本とはじめて出会う場所」として、未就学児と保護者の方が利用できるフロアです。

読み聞かせやおしゃべりなど、思い思いに楽しんで♪授乳室や飲食できるエリアもあります。

※横浜市中心図書館にあります。

詳しい利用案内は、図書館ホームページへ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/tshokan/central/oyako.html>

平成28年6月発行 令和7年10月改訂

横浜市中心図書館サービス課／編集・発行

〒220-0032 横浜市中心区老松町1 電話 045(262)0050